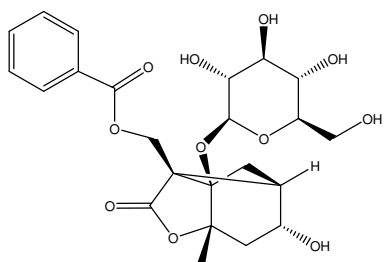
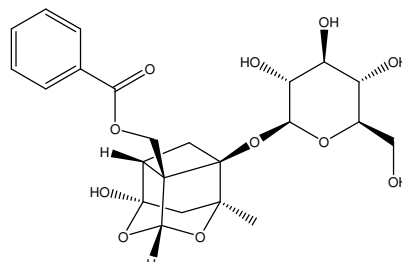


ペオニフロリン定量法のカラム選定条件

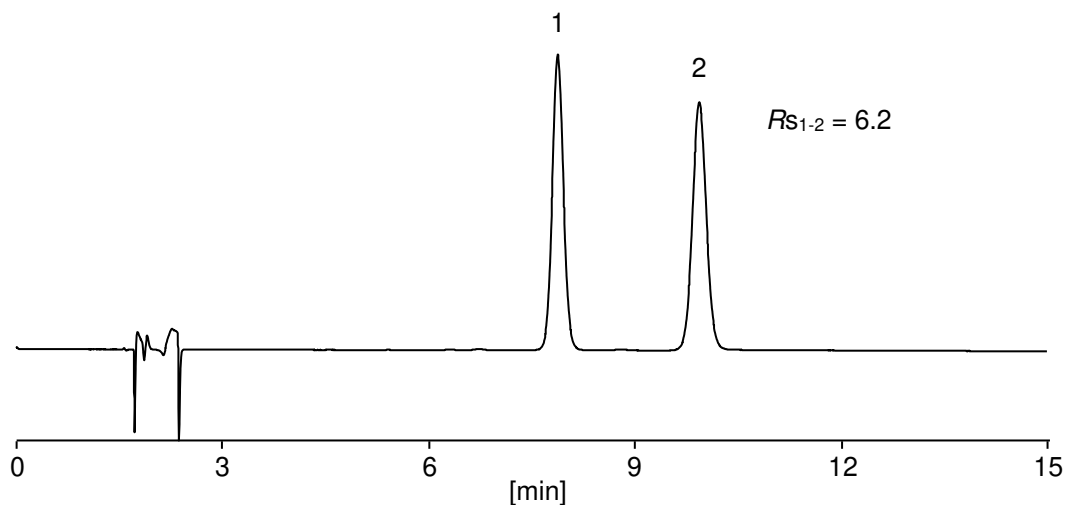
ペオニフロリンは、第十八改正日本薬局方に収載され、シャクヤクに含まれている生薬成分の 1 つです。局方におけるカラム選定条件は、「アルビフロリン、ペオニフロリンの順に溶出し、その分離度は 2.5 以上あるものを用いる」と定められています。この条件において CAPCELL PAK C₁₈ KG S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm) では、分離度 6.2 で適合しています。



1. アルビフロリン (100 µg/mL)
Albiflorin (M.W. 480.5)



2. ペオニフロリン (100 µg/mL)
Paeoniflorin (M.W. 480.5)



【HPLC Conditions】

Column	: CAPCELL PAK C ₁₈ KG S5 ; 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase	: H ₂ O / CH ₃ CN / CH ₃ COOH = 850 / 150 / 1
Flow rate	: 0.8 mL/min
Temperature	: 20 °C
Detection	: UV 232 nm
Inj. vol.	: 10 µL
Sample dissolved in	: 50 vol% CH ₃ OH
	※ 1 µg/mL = 1 ppm